

官民バリウスリンク会議による開発手法

ユーザー利益最優先

使う側の気持ちを最も大切にする。

メーカー都合の開発から、**ユーザー主導の開発**に切り替える試みとして、「官民バリウスリンク会議」=複数のメーカーや公的機関による連携・打ち合わせ(公開)で、進捗の情報共有し、国際競争力のあるインフラを確立する。

現状の地域活性化策(地方創生・スタートUP・再開発等)は、基本的には企業都合の提案であり、培ってきた技術の範囲&高価な設備の流用を考え、狭い範囲の技術内容であり、**ユーザが欲しいものを追求していない。**

ステッパーで世界市場を席巻していたニコン・キヤノンが、ASLM社に負けた根本原因は「**技術を自社内で囲おうとしたこと**」で、元ニコンのステッパーの開発者の弁「ステッパーに関する広範囲な分野の技術を自社内だけでやろうとしていたので、**リソースが足りなくなった。**」



「最先端の特許技術」を多くの企業の力を結集し、広くユーザーの意見を聞きながら、また法整備を進めながら、誰でもが欲しがるものを開発することが大切。(バリウスリンク会議)

楽しく取り組む
遠慮と批判厳禁

将来のシナリオに基づき新しい流れをつくる



案

スロー(移動)社会構築

名誉会長: 内閣総理大臣
会長: 栃木県知事

官民バリウスリンク会議

統括戦略会議(各機関の業績評価)

ホストメーカーの代表者(司会)

- ①地方創生貢献度: 25%
- ②世界平和貢献度: 25%
- ③新技術の達成度: 25%
- ④売上 & 利益貢献: 25%

売上至上主義から脱却しユーザの使用の満足度UPを追求する。

「モード切替え車」→「低速自動運転専用車」→「水陸両用低速自動運転車」→「超低空人を乗せる自動運転ドローン」の特許取得案件についての公開会議

(随時)

研究開発知財会議

(世界中の技術動向を把握し、標準化をし、知財の侵害監視や、新しい技術導入でさらなる社会貢献ができないか検討する。)

(随時)

販売・設置・サービス・メンテ準備会議

(各国の地元サービス企業と連携しながら、各地の問題点の共有を行い、共通の対応策を模索する。)

全体会議(月一回)
第1金曜日午後2時~
(終了後自腹打ち上げ)

サブホストメーカー
オープンAI社

サブホストメーカー
日産自動車

ホストメーカー
ホンダ

アイデア提供
ガーデン
フィールド

幹事会(官民バリウスリンク会議の準備)

情報公開・会議準備・資料保管

経済産業省

国土交通省

環境省

栃木県

トヨタ自動車

積水化学

ソフトバンク

常任

他の自動車メーカー

他の自動車関連メーカー

バッテリーメーカー

新規参入メーカー

神奈川県様

東京都様

千葉県様

埼玉県様

オブザーバー参加

<活性化会議システム>

(住民の声を反映させる)

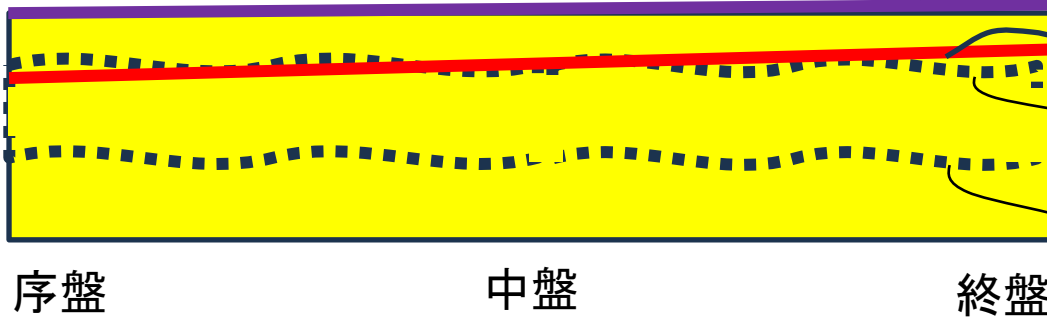
(自分の立場を離れ、より広く考える。)

1. 会議での服装は自由とし、必ず本音で話す。(大義名分や会社の立場等は不要)
2. 議事録は共有サーバーに入れ、パスワードを設定し、誰でもみられるようにする。
3. 平行線の議論は、次回の議題にし、その場では無理に結論を出さない。

(双方で関連情報の再調査を伴う。)

各社は、2名が参加(ホストは参加無制限)し、開発にかかった費用をすべて申告する。ホスト機関とサブメーカーとで各社の業績評価を実施、かかった経費の1.2~20xが売上の中から支払われる。(ホスト機関とサブメーカーとでよく相談して詳細内容を決定する。)

将棋の藤井八冠の強さのイメージ



AI(人工知能)のレベル

藤井八冠(常に安定している)

プロの平均レベル

一般的なアマチュア強豪の平均レベル

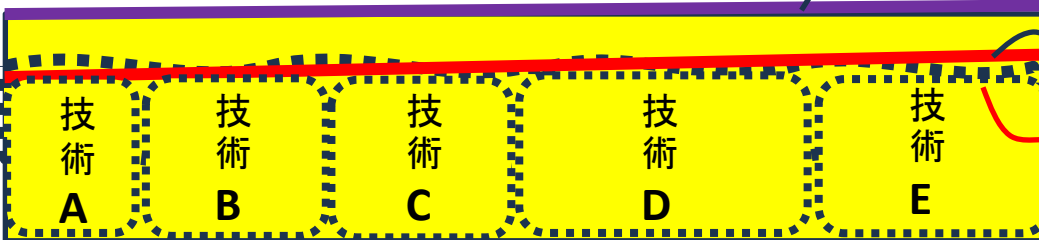
序盤

中盤

終盤

「超一流の精神力」と言われ、序盤から中盤、そして終盤へと強さが常に一定している。(他のプロ棋士は多少思考のムラが存在する。)

バリウスリンク会議にて安定した開発力



理想的なシステム開発力

バリウスリンク会議にて達成される技術開発力 = 連携 & 情報共有でムラがなくなる。(個々に独立・分担をするとムラが生じる。)

分科会に分けたり、役割分担をし勝ちですが、成熟社会では通用せず、全方位で同時に考える必要があります。=バリウスリンク会議。

過剰品質や性能不足が発生、場合により設計ミスが生じることがある。

第一回官民バリウスリンク会議(7月3日)

- 1 オープニング挨拶(14時～)
(経産省大臣又は栃木県知事)
2. スロー社会の構築による自動車産業の将来動向と経済効果 (経産省)
3. スロー社会の構築による、赤字路線の解消について(国交省)
4. スロー社会の構築による、人々の暮らし生活の変化(環境省)
5. スロー社会の構築のための特許戦略
(ガーデンフィールド:廣田)
ペアリング走行、リヤカー連結効果

参加任意

千円徴収の打上げ会(～17時)

第二回官民バリウスリンク会議(8月7日)

- 1 オープニング挨拶(14時～)
(経産省大臣又は栃木県知事)
2. 低速自動運転と人が運転するモード切替車の構想図の紹介
(日産自動車)
3. 低速自動運転専用車の構想図紹介
(HONDA)
4. 水陸両用低速自動運転車の構想図の紹介(トヨタ自動車)
5. マイアバター(AI)の仕様概要紹介
(オープンAI社)

参加任意

千円徴収の打上げ会(～17時)

バリウスリンク会議の具体的な進め方

参加各社は「バリウスリンク会議窓口課」を設定する。

窓口課は、「バリウスリンク会議の概要」と「〇〇のテーマで参加した」ことを全社内に通知をする。

窓口課は、「バリウスリンク会議の自社の分担のテーマに沿ったアイデアを社内募集し、応募者および応募グループからのアイデアをPPで受け付ける。(専用ホルダーを設定し、応募者&応募グループはあらかじめ窓口課とのメールのやりとりで、該専用ホルダーのパスワードを取得する。)

窓口課は、社内有識者(バリウスリンク会議出席者)と相談し、アイデアに順位をつける。(3位程度までをバリウスリンク会議にて報告する。どのアイデアも全体の整合性が取れない場合は、再度アイデアを募集する。それを何度か繰り返すことがある。)

窓口課は、バリウスリンク会議で了解されたアイデアの図面化のために社内調整を行う。(アイデア出しグループと異なる部門が担当してもいいし、外部委託も可能＝システムとして特許で守られている。)

.....

窓口課は、バリウスリンク会議にかかった全経費(専用様式)を次の月の10日までにホスト機関に送付する。(総人件費、設備使用料等・・・)

ホスト機関は「バリウスリンク会議対応課」及び「窓口課」に相当するものを設定する。

対応課は、「バリウスリンク会議の概要」と「〇〇のテーマで参加し、ホスト機関となった」ことを全社内に通知をする。(窓口課は、左記内容を実施する。)

対応課は、「バリウスリンク会議の設定、会議進行&議事録作成及び各社窓口課への連絡及びオブザーバー参加者への連絡を行う。

対応課は、議事録を含む各種資料のホルダーを作成し各社窓口には、月ごとに代わるパスワードを通知する。(各社の社員は、窓口課の了解が得られれば、誰でも閲覧が可能となる。)

対応課は、自社を含む各社の提出した「全経費」をチェックし、バリウスリンク会議でその概要を報告し、議事録にも記載する。



各社からのバリウスリンク会議への出席者2名は固定せず、その都度社内公募がよい。